

- (5) 各邑義と王朝や地方官との関係の分析
(6) 各邑義にみえる仏教思想の分析

窪田 和美

(研究の目的)

これまで近江商人の研究では、経済的な要因が問題とされた研究業績が蓄積されてきたが、彼らを多く輩出した地域は、実は真宗信仰が盛んな地域で商家自体も真宗門徒である例が多い。つまり、何故近江商人に真宗信仰に熱心な門徒が多いのか、そして彼らの価値観や社会意識は、近江という地域性と近江出身でありながら、全国に向けて商圏を拡大していった状況には、宗教的要因も少なからず影響していたと思われる。そこで近江商人の宗教倫理を実証的に明らかにすることが本研究の目的である。

近江商人興隆期には、石田梅岩の「石門心学」や二宮尊徳の「報徳運動」に影響を受けたという研究もみられるが、それは当時の流行や地域性によったのではないかと推測している。

したがって今回は真宗教義に影響を受けていたと思われる商家のうち、関東方面を中心に聞き取り調査を実施したいと考えている。

将来的には、浄土真宗の宗教倫理だけでなく、広く仏教の他宗、あるいは石門心学や報徳運動の影響もとらえることができればと考えているが、現段階では具体的な方法論が見いだせていない。

社会学的手法を使って、仏教とりわけ真宗の宗教倫理を明らかにする。

具体的には、郷土史に現れた近江出身の商人に関わる実証データに基づく検証、さらに商家を継承している末裔からの聞き取り調査を実施する。テープによる録音からこれを起こして文章の形にして分析するため、アルバイトを使ってテープ起こしの作業を依頼する。一日六時間労働で三人で五日間あれば、全体の状況が判断できると思われる。

その上でデータからの裏付けや新たなデータをもとにして分

析と検証を進める。

近江商人は滋賀県出身者が多いが、地元滋賀に居住している商家は少なく、ましてその末裔となると、埼玉県秩父市、埼玉県行田市、群馬県山田郡大間々町、群馬県桐生市、群馬県藤岡市、埼玉県久喜市、東京都町田市、栃木県芳賀郡茂木町、栃木県真岡市、栃木県上尾市、神奈川県御殿場市等関東方面に居住している商家が多い。そこで実際には、関東地域への出張が度重なる。

◆平成十七年度 兼任・客員研究員〈新規〉◆(順不同)

大取班

大取 一馬 (本学文学部教授)

日下 幸男 (本学文学部教授)

下西 忠 (高野山大学教授)

鈴木 徳男 (相愛大学教授)

安井 重雄 (本学文学部非常勤講師)

小林 強 (本学文学部非常勤講師)

三浦 俊介 (立命館大学非常勤講師)

西山 美香 (花園大学非常勤講師)

中西 潔 (奈良工業高専非常勤講師)

高田 誠文 (履正社高校常勤講師)

辻野 光昭 (仁川学院中・高校常勤講師)

三輪 正胤 (大阪府立大学名誉教授)

加美 宏 (同志社大学名誉教授)

千艘 秋男 (東洋大学教授)

岩井 宏子 (甲南大学非常勤講師)

寺尾 卓之 (丹波桜梅学園指導員)

日比野 浩信 (愛知淑徳大学非常勤講師)

近藤 香 (本学仏教文化研究所客員研究員)

酒主 真希 (冷泉院住職)

宮川 明子 (本学非常勤講師)

内田 誠一 (安田女子大学助教授)

中村 元 (本学仏教文化研究所客員研究員)

糸井班

糸井 通浩 (本学文学部教授)

安藤 徹 (本学文学部助教授)

来田 隆 (本学文学部教授)

石黒 みか (本学仏教文化研究所客員研究員)

外山班

外山 敦子 (愛知淑徳大学非常勤講師)

辻野 光昭 (仁川学院中・高校常勤講師)

當麻 良子 (本学非常勤講師)

木村 雅則 (西宇治高校教諭)

忠住 佳織 (本学仏教文化研究所客員研究員)

豊嶋班

豊嶋 新一 (榎ワークアカデミー社員)

雨森 正高 (医師)

山崎 泰正 (説話伝承学会会員)

明川 忠夫 (近畿民俗学会会員)

都築班

市川 良文 (本学文学部非常勤講師)

日下班

和田 恭幸 (本学文学部助教)

松田美由貴 (桃山学院高校非常勤講師)

兼作 信行 (早稲田大学教授)

加藤 弓枝 (豊田高専専任講師)

林班

李 光濬 (本学仏教文化研究所客員研究員)

高田 秀嗣 (仏教大学総合研究所嘱託研究員)

大谷 光淳 (本学文学部非常勤講師)

杉原誠四郎 (武蔵野大学教授)

矢田班

アムスタツ・ゲイレン (本学文学部教授)

芳村班

龍口 恭子 (本学文学部元非常勤講師)

那須 良彦 (教学伝道研究センター研究員)

赤松班

赤松 徹真 (本学文学部教授)

中川 修 (本学文学部教授)

藤原 正信 (本学文学部助教)

藤村 研之 (本学文学部助教)

下間 一頼 (本学文学部非常勤講師)

中西 直樹 (京都女子学園事務職員)

入澤班

三谷 真澄 (本学文学部助教)

白須 淨真 (国立博物館研究員)

西谷 功 (泉涌寺宝物館学芸員)

和田 秀寿 (元芦屋市美術博物館歴史美

術課係長)

関 丙勲 (大韓民国国立中央博物館歴史部研究員)

磯邊 友美 (本学大学院文学研究科研究員)

橋堂 晃一 (本学大学院文学研究科研究員)

武田班

前田 壽雄 (教学伝道研究センター研究員)

磯邊 友美 (本学大学院文学研究科研究員)

個人研究

東森 勲 (本学文学部教授)

佐藤 智水 (本学文学部教授)

窪田 和美 (本学短期大学部助教)

二〇〇五年度龍谷大学沼田奨学金研究奨学金受給者

氏 名: David Riggs 氏 (国際日本文化研究センター・研究員)

研究課題: The role precepts in Buddhist thought and practice

指導教授: 龍口明生文学部教授

期 間: 二〇〇五年四月一日〜二〇〇五年九月三十日

氏 名: Diane Riggs Diane 氏 (Department of Asian Languages and Cultures, UCLA, PhD Candidate)

研究課題: Silk robes and the Tokugawa period revival of Buddhist Monastic codes.

指導教授: 龍口明生文学部教授

期 間: 二〇〇五年九月一日〜二〇〇六年三月三十一日

二〇〇五年度外国人客員研究員

氏 名: 王 精誠氏 (中国西安交通大学日本語学部教授)

研究課題: 言語を中心とする日中文化の比較研究

指導教授: 糸井 通浩文学部教授

期 間: 二〇〇五年四月一日〜二〇〇六年三月三十一日

氏 名: 顧 鳴 塘氏 (中国上海師範大学人文学部文学研究所副所長)

研究課題: 日本の平安時代における天台・真言教学の研究

指導教授: 浅田 正博文学部教授

期 間: 二〇〇五年九月一日〜二〇〇六年三月三十一日

氏 名: Dr. Michael Hahn 氏 (ドイツマールブルグ大学教授)

研究課題: Kappinabhyudaya

指導教授: 若原 雄昭理工学部教授

期 間: 二〇〇五年九月一日〜二〇〇五年十月十三日

氏 名: Brendan S. Gillon 氏 (アメリカマギル大学准教授)

研究課題: A Study of Buddhist Logic.

指導教授: 桂 紹隆文学部教授

期 間: 二〇〇六年一月十五日〜二〇〇六年四月十五日

◇研究所日誌◇

―平成十六年度(後期)―

十一月十日(水) 午後十二時三十分

第五回 運営会議開催

1、二〇〇五年度「共同研究」・「個人研究」の予算案について

2、二〇〇五年度仏教文化研究所(善本叢書・研究叢書)出版助成の予算案について

(1) 研究叢書14、15「反省(會)

雑誌II、III」 福岡 寛隆他

永田文昌堂

(2) 研究叢書16「中世の文学と学問」大取 一馬 思文閣出版

(3) 研究叢書17「Kappinabhyudaya」(フルカラー版) 若原 雄昭 法蔵館

2、二〇〇五年度「専任研究員」の選出について

十一月十七日(水)

第六回 運営会議開催(持ち回り開催)

1、二〇〇五年度外国人客員研究員の任用について

十一月二十九日(月) 午後三時

第四回 研究談話会(入澤研究班)

会場 大宮本館一階応接室

講題 「旅順博物館所蔵漢文写本断片の整理状況」

講師 王 宇氏(旅順博物館副館長)

十一月三十日(火)午後三時三十分～五時

第五回 研究談話会(安藤研究室)

会場 大宮本館一階応接室

講題 「堂上と地下の源氏学」

講師 岩坪 建氏(同志社大学文学部教授)

十二月六日(月)午後四時三十分～

第六回 研究談話会(林研究室)

会場 大宮本館二階会議室

講題 「『歎異抄』第五条の考察」

講師 松尾 得晃氏(本学仏教文化研究所客員研究員)

十二月二十日(月)午後三時～四時三十分

分

第七回 研究談話会(芳村研究室)

会場 大宮西翼三階小会議室

講題 「仏教思想の現代的意味」

講師 長崎 陽子氏(本学非常勤講師)

講師 岡本 健資氏(本学非常勤講師)

十二月二十三日(木)午前十一時～

第八回 研究談話会(日下研究室)

会場 大宮清和館三階会議室

テーマ 「仏書刊記集成から国書刊記集成へ」

講師 日下 幸男氏(本学文学部教授)

三月三日(木)午後三時～

第九回 研究談話会(楠研究室)

会場 大宮本館一階応接室

講題 「澄観の四種法界説成立に関する再検討」

講師 藤丸 要氏(本学経済学部助教授)

講題 「藏俊撰『菩提院抄』をめぐる諸学僧」

講師 新倉 和文氏(大阪学芸中等教育学部教諭)

三月五日(火)午後四時～六時

第十回 研究談話会(赤松研究室)

会場 大宮本館一階応接室

テーマ 「戦時下の「仏」と「神」に関する諸問題」

講師 赤松 徹真氏(本学文学部教授)

授

三月九日(水)午後十二時三十分～

第七回 運営会議開催

1、二〇〇五年度「共同研究」・「個人研究」の予算決定について

2、二〇〇五年度仏教文化研究所兼任研究員・客員研究員について

3、二〇〇五年度運営会議構成員について

4、二〇〇五年度外国人客員研究員の任用について

5、二〇〇五年度沼田奨学金研究奨学金受給者の推薦について

6、二〇〇五年度専任研究員の選任について

7、二〇〇五年度客員研究員の科学研究

究費補助金研究代表者就任について

三月二十二日(火)午後四時～六時

第十一回 研究談話会(赤松研究室)

会場 大宮本館一階応接室

テーマ 「上花園神社の仮面群と高野山周辺の芸能」

―新出資料の分析と羽生郡比売神社の仮面との比較―

講師 大河内 智之氏(和歌山県立博物館学芸員)

平成十七年度(前期)

四月十四日(水)午後十二時三十分～

第一回運営会議開催

1、二〇〇五年度研究体制・役員について

いて

所長

副所長

研究調査部主任

事業部主任

科 矢田 了章(真宗学)

足立 明久(哲学科)

都築 晶子(史学科)

Lazarin Micheal(英語英米文学科)

川添 泰信(短期大学部)

入澤 崇(学長推薦)

殿内 恒(学長推薦)

事務主任 辻川 淳一(研究部次長)

次長

2、二〇〇五年度研究所予算について

3、二〇〇五年度兼任・客員研究員の追加申請について

4、二〇〇五年度外国人客員研究員の取り下げについて

5、二〇〇五年度客員研究員の科学研究費補助金研究代表者就任について

6、二〇〇五年度研究談話会開催について

六月八日(水)午後十二時三十分～

第二回運営会議開催

1、二〇〇六年度研究プロジェクトの募集について

2、二〇〇五年度第六十五回仏教文化講演会の開催について

3、二〇〇五年度沼田奨学金研究奨学金受給者の推薦について

六月二十九日(水)午後三時～四時三十分

第六十五回仏教文化講演会

会場 大宮学舎本館二階講堂

講題 「アメリカでの真宗伝道―宗教教育という一つの方法論を通して―」

講師 山岡 誓源氏(北米開教区元開教総長・文学博士・宗教教育博士)

七月九日(土)午後二時～三時三十分

第一回 研究談話会(糸井研究室)

講 題 「江戸時代の国際人・雨森芳洲―日朝交流に尽くしたその生涯―」

講 師 雨森 正高氏(本所客員研究員)

七月二十二日(金)午後一時三十分

第二回 研究談話会(赤松研究班)

会 場 大宮西饗三階小会議室

講 題 「神仏習合研究の動向」

講 師 中川 修氏(本学文学部教授)

九月二十六日(金)午後三時

第三回 研究談話会(入澤研究班)

会 場 大宮本館一階応接室

講 題 「旅順博物館所蔵資料の現状と展望」

講 師 上山 大峻氏(本学名誉教授)

竺沙 雅章氏(京科大学名誉教授)

三谷 真澄氏(本学文学部助教)

橘堂 晃一氏(本学大学院文学研究科研究生)

磯邊 友美氏(本学大学院文学研究科研究生)

九月二十八日(水)午後十二時三十分

第三回運営会議開催

1、二〇〇六年度仏教文化研究所(善本叢書・研究叢書)出版助成の募集

ついて

2、二〇〇六年度専任研究員の募集について

3、平成一七年度沼田奨学金(研究奨

学金)受給候補者の推薦について

4、二〇〇五年度外国人客員研究員の任用について

5、二〇〇五年度仏教文化研究所の客員研究員の追加承認について

6、二〇〇五年度客員研究員の科学研究費補助金研究者名簿への登載について

7、二〇〇五年度補正予算について

8、二〇〇六年度研究プロジェクト採用審査日程について

9、過去の常設研究の進捗状況について

十月五日(水)午後一時三十分

二〇〇六年度仏教文化研究所研究プロジェクト採用審査会開催

十月六日(木)午後六時三十分

第四回・研究談話会(赤松研究班)

会 場 大宮本館一階応接室

講 題 「専修念仏と神祇」

講 師 藤村 研之氏(本学文学部特任助教)

十月十二日(水)午後十二時三十分

第四回運営会議開催

1、二〇〇六年度仏教文化研究所研究プロジェクト採用審査結果について

2、二〇〇五年度客員研究員の科学研究費補助金研究者名簿への登載について

平成一七年十一月三十日発行

龍谷大学 仏教文化研究所

代表者 小 玉 大 圓

☎六〇〇―八二六八

京都市下京区七条通大宮東入

大工町一二五―一

電話〇七五 (343) 三三一(代)

内線5400